



尾道市立市民病院広報誌

第39号

発行日：2018年6月

〒722-8503
尾道市新高山3丁目1170-177
tel:0848-47-1155
fax:0848-47-1004
<http://onomichi-hospital.jp/>

尾道市立市民病院理念

尾道市立市民病院は、信頼される安全で
質の高い医療を提供し、市民の皆さまの健康を守ります。



ごあいさつ

副院長兼看護部長 上谷 紀子

皆様、こんにちは。副院長兼看護部長の上谷です。
平素より、尾道市立市民病院の診療、運営、そして看護部の活動に関しまして、多大なご支援とご協力をいただき、誠に有り難うございます。

皆様方におかれましては、新年度を迎えて慌ただしい日々を過ごされていることと、お察しいたします。

当院におきましては今年度、3名の初期臨床研修医を迎えることができたことが、明るいニュースとなっております。また事務部長、庶務課長、医事課長の異動があり、病院事務部も新体制でスタートを切りました。

さて2018年度は、診療報酬・介護報酬の同時改定が行なわれました。いわゆる団塊の世代の方々が高齢者になられる2025年に向けて、大きな舵取りがなされた改定であります。

我が国においては、少子超高齢多死社会に突入し、社会保障制度の見直しが必要とされ、地域包括ケアシステムの構築と推進が急がれています。そして医療提供体制も、「病院完結型医療」から「地域完結型医療」への転換が行なわれています。

全国のデータを見ると、尾道市における高齢化率は、全国平均の10年先に推計される数値をすでに迎えています。また全国平均に比べ、健康寿命は低く、それは長期にわたり介護など、人のお世話になる人が多いということを意味します。

看護部においては、地域におけるニーズを捉えたうえで当院のあり方を考え、市民の皆様が安心して

生活できる地域医療と看護はどうあるべきかを、常に考えてきました。そして入院されることで、ADL（日常生活動作）が低下しないように看護を展開してきました。患者さんを生活者と捉えて、住み慣れた地域において、その人らしく、最期まで安心して暮らすことのできることを支援していくために、「在宅療養支援室」と「在宅訪問部門」を開設しました。そして、「退院後の電話訪問」「退院前の在宅訪問」「退院後の在宅訪問」など、様々な取り組みを行ってきました。

また治癒しない病気や障害を抱えても、残存する機能を引き出し、患者さんがどうしたいのか、自らが自己決定することを支援すること、いわゆる「意思決定支援」が重要となっています。そこで2年前に「看護部倫理委員会」を立ちあげて、毎月、各部署において「看護倫理検討会」を開催することを、目標として取り組んできました。患者さんのQOL（生活の質）を考え、医療者としての倫理的視点で看護を提供することを心がけています。

今後も院内はもちろんのこと、地域においても多職種との連携を密にして、協働できるように努力して参ります。そのためにも自律した看護師を育成して、当院が理念に掲げています「信頼される安全で質の高い医療を提供し、市民の皆様の健康を守ります」が実現できますように、尽力する所存です。

今後とも、変わらぬご指導とご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

新任医師の紹介



泌尿器科 医長
西山 康弘

2018年4月より尾道市立市民病院に赴任して参りました、泌尿器科の西山康弘(にしやま やすひろ)と申します。

2000年3月に高知大学を卒業後、福山市民病院、岡山大学病院、岡山労災病院、鳥取市立病院での勤務を経て、尾道の地へと辿り着きました。

生まれは岡山県玉野市です。尾道の前は、山陰の鳥取市で11年間暮らしてきました。

尾道の地に降り立つと、山陰の厳しい気候に慣れ親しんでいた私の前に、生まれ育った玉野と同様の穏やかな山陽の春が待ち構えていてくれ、とても嬉しくなりました。

泌尿器内視鏡手術、泌尿器腹腔鏡手術を専門としております。特に前立腺肥大症や尿路結石に対する手術が好きで、今までたくさんの手術を経験してきました。これまでの経験を生かし、尾道に暮らす皆さんのお役に立てたら幸せです。

これからも頑張りますので、皆さん、どうぞよろしくお願ひいたします。



泌尿器科 医師
井上 陽介

2018年4月より尾道市立市民病院に勤務しております、泌尿器科の井上陽介と申します。

2011年に岡山大学を卒業し、岡山労災病院で初期研修を行い、岡山大学病院、岡山医療セ

ンターで泌尿器科としての経験を積み、この度こちらの病院に赴任させていただきました。

病院から実家までは車で数分という地元出身であることもあり、尾道市立市民病院には大変思い入れがあります。幼小の頃とは病院周辺の環境も変化してきておりますが、市民の皆様の健康を守る地域医療を提供するという点において、変わりはありません。私自身も少しでもお役に立てられるよう精進して参ります。

まだまだ経験も浅く、ご迷惑をお掛けすることも多々あるとは思いますが、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



外科 医長
下田 篤史

2018年4月より尾道市立市民病院 外科に配属となった下田です。専門領域は肺がんを中心とした呼吸器外科ですが、外科全般を診察させていただきます。

私は2008年に岡山大学を卒業後、初期研修医として当院に採用されました。医師になった当初は何も分からず、右往左往しているような

状態でしたが、当院での2年間の研修を終え、他施設で研鑽を重ね、10年ぶりに再び当院に採用いただきました。医師としてのスタートした病院で再び仕事ができることに大変うれしく思っております。病院からみえる尾道の町並みも変わっておらず、懐かしい気持ちでおります。

高齢化にともない肺がん患者さんは増加の一途をたどっていますが、手術・画像診断の向上により治る病気になりつつあります。他の施設、地域で培った技術・知識を尾道に還元したく努力していきたいと思っております。初期研修医のときの気持ちを忘れず、初心に戻りがんばっていきたく思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



整形外科 副医長
井上 博登

2018年4月より尾道市立市民病院に勤務させていただきます整形外科の井上博登です。2010年に琉球大学を卒業後、地元の岡山に戻り、岡山労災病院、岡山大学病院、光生病院と勤務し、この度、尾道市立市民病院で勤務させ

ていただくことになりました。

家族4人で尾道に引っ越してきて、さっそく桜満開の千光寺でのお花見、尾道の町並みやお寺巡り、向島までの渡船など、家族ともども尾道を満喫しています。この記事を書いている週末にはさっそく尾道みなと祭りがあり、夏には住吉花火まつりもあるようで今から大変楽しみにしています。

一般整形外科・膝関節を中心に診察をしております。まだまだ未熟ではありますが、地域の医療に貢献できるよう精進していきますのでよろしく願いいたします。



形成外科 医師(非常勤)
井上 温子

2018年4月より非常勤(毎週水曜日)で尾道市立市民病院に勤務させていただいております。形成外科の井上温子と申します。

高校卒業後に地元神戸から沖縄へ飛び、島生

活を充分満喫して2010年に琉球大学を卒業し、主人(整形外科の井上)の地元岡山へ。岡山中央病院で初期研修を終了後、2012年より川崎医科大学形成外科へ入局し、産休・育休を取りながらではありますが、経験を積ませていただきました。今回、ご縁が有り初めて尾道へ参りましたが、山から見渡す町並みの美しさに感激し、この地で暮らせることを嬉しく思っております。

経験年数の割にまだまだ未熟でご迷惑をおかけすることも多々あるかと存じますが、少しでも皆様のお役に立てますよう、日々精進して行く所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

初期研修医
水田 靖子

尾道市立市民病院初期研修医1年目の水田靖子と申します。本年4月からこの尾道に引っ越してきました。慣れない土地で不安もありましたがとても住みやすい場所で、病院のスタッフの皆様も温かく歓迎してくださり、充実した毎日を送ることができています。

尾道へは二、三度観光に来たのですが、千光寺公園から眺める尾道水道の美しさにとっても感動しました。こちらに来ていろいろな方の話を聞かせていただくと、まだまだ尾道の魅力は沢山あるようなので、しまなみ海道を渡って島々

を探索したり、尾道ラーメンを食べ比べてみたいなと思っています。

病院での研修を始めて日も浅く、まだまだ分からないことだらけの日々ですが、少しでも早く皆様のお役に立てるよう精進して参りますので、今後ともご指導ご鞭撻の程宜しく願いいたします。





初期研修医
水田 隆誠

2018年4月より当院で働いております、初期研修医1年目の水田隆誠と申します。出身は広島市で、2018年3月に広島大学を卒業しました。生まれてから大学を出るまでずっと広島市に住んでいたため、尾道に住むのはもちろん初めてです。公私ともに初めてのことで、大変なことも多い毎日ですが、職員の皆さんが

優しく接してくださっていることもあり楽しく過ごせています。

今は麻酔科で研修しており、一日中手術室にいます。先生にマンツーマンで指導してもらい、医学的な知識・技術はもちろんのこと、ともすれば患者さんにとって最も不安が強い場所である「手術室」で、医療者としてのあるべき姿を学んでいます。患者さんに対して誠実で、真摯に医療に取り組むスタッフの皆さんの中で、医師としての第一歩を踏み出すことができ本当に嬉しく思います。一日でも早く一人前の医師となり、尾道の地域医療に貢献できる人材になれるよう精進してまいります。これからよろしくお願いたします。



初期研修医
藤田 亮

2018年4月より当院で働いております、初期研修医1年目の藤田亮と申します。

出身は因島で、2018年3月に金沢医科大学を卒業しました。尾道は地元であるため、尾道ラーメンや刺身など、おいしいものをいっぱい知っていますが、ダイエット中でなかなか食べ

られていません。

4月に消化器内科、5月から循環器内科をローテーションしていますが、先生方からは無理のないご指導をいただいております。カルテの書き方や手技の手順など、初歩的なところから教えていただいて、本当に感謝しております。

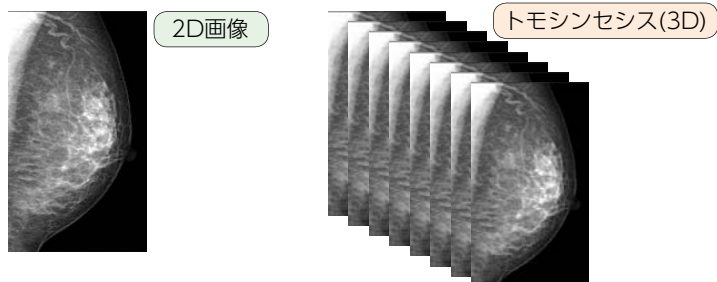
採血や色々な手技、救急外来での問診、診察など、少しずつではありますができることが増え、医師としての第一歩を踏み出すことができ、本当に嬉しく思います。

一日でも早く一人前の医師となり、地元尾道の医療に貢献できるよう日々精進します。これからよろしくお願いたします。



最新マンモグラフィ装置に更新しました

当院のマンモグラフィ装置は、今年2月に最新のマンモグラフィ装置に更新されました。この装置は従来の撮影(2D撮影)に加えてトモシンセシス(3D撮影)が撮影できるようになります。以前の装置では乳房全体を平面的に画像化するのみでしたが、トモシンセシス撮影は異なる角度(多方向)から連続撮影をすることで薄い間隔の断面像を収集することができ、高さの違う構造物を分離することができます(図①)。



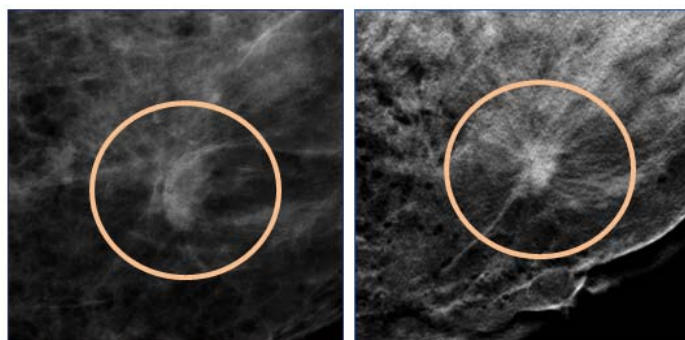
図① 2D画像とトモシンセシス画像のイメージ図



装置名：AMULET Innovality
(FUJIFILM社製)

今まで診断の難しかった病変を見つけやすくなりました。また、腫瘍の辺縁などの確認も容易に行えます(図②)。当院では2D撮影に加えトモシンセシスも撮影しており診断精度の向上、再検の減少、病変位置の特定など多くのことが期待できます。

被曝に関しては従来よりも30~40%の線量低減を実現しており、トモシンセシス撮影を追加しても問題ありません。



(従来の2D画像) (トモシンセシス画像)

図② 実際のマンモグラフィ画像。トモシンセシス画像の方が腫瘍の辺縁がシャープにみえ、形態確認が容易に出来る。



当院は、検診マンモグラフィ認定の資格を持つ女性技師(4人)が撮影を行っております。安心して検査を受けてください。



乳がんは、がんのなかでも、日本人女性がかかる割合がトップであり、増加の一途をたっています。

生涯のうちに乳がんになる女性の割合は、50年前は50人に1人でしたが、現在は14人に1人と言われております。

年齢別に見た場合、胃がんや肺がん、大腸がんのように年齢が高まるとともに増えるがんとは異なり、30代後半から増加しはじめ40代後半から50代前半にピークを迎えます。

さらに閉経後の60代前半で再びピークを迎える傾向があります。比較的若い世代で多くな

っていますが、乳がんは何歳でもかかる可能性があり、20代で患う人もいます。早期発見であれば約90%の人が治癒するといわれ、若い時から関心を持ち早期発見のためにセルフチェックや検診が大切です。



2018年度市民公開講座を開催しました

去る6月3日(日)、しまなみ交流館(テアトロシェルネ)において市民公開講座を開催いたしました。来場者数は約250名で、たくさんの方にお越しいただきました。

今回は、「がん検診へ行こうよ！～消化器がんの早期発見と治療～」をテーマに、当院の消化器内科の医師2名が講演を行いました。

講演の概要は次のとおりです。

胃・大腸編



尾道市立市民病院
消化器内科 医長
宮部 欽生

『国民の2人に1人が“がん”になり、3人に1人が“がん”で亡くなっています。しかし、皆様のがん検診を受けることで、がんによる死亡を今よりも減らすことができます。厚生労働省では、がん検診の受診率を50%以上とすることを目標に、がん検診を推進しています。がん検診、忘れずに受けていますか？』(厚生労働省HPより抜粋)

厚生労働省では患者や生活者の視点に立った国民一人一人の健康で衛生的な生活を確保するための健康・医療政策の取り組みの一つとしてがん検診事業を行っています。現在は胃がん、子宮頸がん、肺がん、乳がん、大腸がんの5臓器について指針を定め市町村による科学的根拠に伴ったがん検診を推進しています。胃がんについては従来のX線検査に内視鏡検査が追加され50歳以上を対象に2年毎の検診を推奨しています。大腸がんについては40歳以上を対象に問診及び便潜血反応検査を2年毎に受検することを推奨しています。

がん検診の効果ですが、胃がん検診を胃内視鏡として3年以内に一度以上受検した場合には50～70%の死亡率減少効果があると報告され

ています。また、大腸がん検診では便潜血反応検査を毎年受けることで大腸がん死亡率が60%減少することが報告されています。一方で検査には偶発症や感染などの不利益がありますが、その発症率は10万人に5人程度とされ、内容としては組織検査による出血や薬物アレルギーなどとなっています。また、偶発症死亡率も10万人に0.19人程度の頻度と報告されています。検査機器の進歩により偶発症発生頻度は年々改善されています。

2016年にがんで亡くなられた方は372,986人です。部位別にみると肺が最も多く、次いで大腸、胃、すい臓、肝臓に多いです。圧倒的に消化器がんの多いことが指摘されています。2017年のがん罹患患者数においても大腸がんが最も多く15万人程度、胃がんで13万人程度とされています。消化器がんの新規罹患患者数の減少を目的とするだけでなく、できるだけ早期の段階で発見し最新の治療を提供することで治癒が目指せるがん治療ができる体制づくりの強化が必要です。検診受診率の向上が更なるがん罹患患者発見や根治が可能な早期がんの発見につながります。

当院では年間約50名の早期がん患者(食道、胃、大腸の早期がん)が内視鏡切除(おなかを切らない治療)で治癒し、治療後も皆様元気に生活されています。それらがん病変のほとんどが人間ドックや胃がん・大腸がん検診で指摘されたものです。2017年度実績で尾道市立市民病院の人間ドックの胃カメラを受診された総数625名のなかで悪性と診断された方は4名です。1名は胃リンパ腫でピロリ除菌により寛解されています。3名は早期胃がんと診断され全員が内視鏡治療により治癒切除されています。2018年度は新たな内視鏡システムも増設され見落としのない正確な診断とこれまで以上に安全で確実な治療が提供できるようになります。

地域の皆様全てが健康で豊かな生活が確保出来るため、また1人1人が平等かつ十分な治療機会に恵まれるための取り組みについて最新の治療、検査法とあわせ尾道市の現状を市民公開講座で、紹介させていただきました。

肝・胆・膵編



尾道市立市民病院
消化器内科 医長
河合 良成

肝がん(肝細胞がん)で亡くなる方は全国で年間約30,000人おられ、悪性新生物で5番目に多い疾患です。2012年の死亡統計によると、10万人当たりの死亡率は全国が24.4人に対し、広島県が33.4人、尾三因地域では44.8人と、この地域は全国の倍近い死亡率があります。

肝がんの発生する主な要因は、C型肝炎ウイルスあるいはB型肝炎ウイルスの持続感染です。ウイルス以外の要因としては、多量飲酒、喫煙、肥満、糖尿病なども知られています。最近では、肝炎ウイルス感染を伴わない肝がんが増加しているという報告もあり、その主な要因として、脂肪肝が注目されています。

肝臓は「沈黙の臓器」と呼ばれ、炎症やがんがあっても初期には自覚症状がほとんどありません。また、肝がん検診としての一般的な検診はされておられません。そこで重要になるのが、かかりつけ医の先生や健康診断などで肝機能の異常や肝炎ウイルスの感染などを指摘された際に、専門医療機関を受診し、一度、精密検査を受けていただくことです。肝がんのリスクに応じて、かかりつけ医と連携したフォローアップが勧められています。

当院でも、かかりつけ医と連携して肝疾患の診療を行っており、ウイルス性肝炎の診断と治療、また肝がん予防と早期発見・早期治療に取り組んでいます。

膵がん(膵臓がん)は悪性新生物の中では最も予後が不良ながんと言われており、5年生存率は胃がん73.0%、大腸がん75.8%、肝臓がん34.8%に対して、膵がん9.2%と生存率が極め

て低いことがわかります。肝がんの死亡数は2000年頃をピークに減少傾向ですが、膵がんは年々増加傾向にあり、2016年の統計では33,475人亡くなられており、肝がん(5位)を抜いて死亡数4位の悪性新生物になっています。

膵がんの予後が不良な原因として、早期診断が難しいこと、また膵がんに特異的な自覚症状が無いことがあります。

最近では膵がんになりやすい人の特徴が明らかになりつつ有り、遺伝的な要因、糖尿病・胆石症・膵炎の既往などの基礎疾患、喫煙・飲酒・食生活・肥満・運動などの生活習慣などとの関連も明らかになりつつあります。

尾道市では2007年から尾道市医師会の主導で、JA尾道総合病院、尾道市立市民病院の中核施設が連携し、「膵癌早期診断プロジェクト(尾道プロジェクト)」が開始されました。かかりつけ医の先生に危険因子や超音波検査で注意すべき異常所見などを啓発し、一次スクリーニングを行っていただき、異常が疑われる場合や超音波検査で十分な確認が困難な場合には積極的に中核施設へご紹介いただき、精密検査を行っております。この取り組みにより、この地域での膵がんの5年生存率が20%以上にまで向上していると、JA尾道総合病院から報告されております。

当院でもかかりつけ医の先生と連携して、膵がんの早期発見・治療に努めております。侵襲が少ないCT、MRIでの精査をはじめ、内視鏡的逆行性胆管・膵管造影(ERCP)や超音波内視鏡検査による診断と治療にも積極的に取り組んでおります。

肝がん・膵がんは尾道市による一般検診はされておませんが、住民と医師会と行政が連携して発がんのリスクが高い方をフォローアップすることで、発がん予防・早期発見・早期治療を行い、皆様が健康で安心して暮らせるように取り組んで参ります。



専門・認定看護師紹介

がん看護専門看護師 渡辺 陽子

専門看護師は、専門看護分野において6つの役割(実践、相談、調整、倫理調整、教育、研究)を果たします。特定されている分野は、がん看護、精神看護、地域看護、老人看護、小児看護、母性看護、慢性疾患看護、急性・重症患者看護、感染症看護、家族支援、在宅看護、遺伝看護、災害看護の13分野です。

2018年6月現在、専門看護師は全国に2,075名(がん看護専門看護師：775名)が認定されています。広島県内では、42名の専門看

護師(がん看護専門看護師：22名)が活動しています。がん看護専門看護師は、がん患者さんの身体的・精神的な苦痛を理解し、患者さんやその家族に対して生活の質の視点に立った水準の高い看護を提供する役割があります。

(<http://www.nurse.or.jp/>より引用)

患者さんにとって納得のいく最善のがん医療が提供できるよう心身ともに支援させていただきます。

活動内容：緩和ケアチーム&がん相談支援センターの相談窓口

・**がん相談**

医療者、がん患者さんご家族の療養生活における相談に応じています。

・**在宅療養支援**

治療選択や療養場所の意思決定支援および地域の開業医や訪問看護師と連携を図り、在宅訪問を行っています。

・**講師**

院内、院外の病院施設、看護大学などへの講演、講義をしています。

・**自己研鑽**

学会発表、スキルアップのための研修へ参加しています。

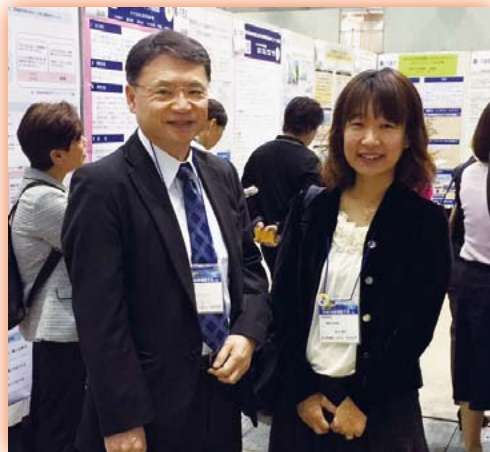
休暇には、青春18きっぷで鉄の旅、名城巡りをしながら、温泉付きグルメツアーでリフレッシュ！

趣味の書道は再開できず、3年前から始めた



集学的がん治療センターダイルームの書「和」
チーム医療と緩和への想いを込めて

サイクリングもペダルをこいだ翌日は筋肉痛で仕事にならず。ひとりの時間を大切に、美味しい物を食べて、ストレス発散しています。



2017年10月19日：全国自治体病院学会(幕張)発表

皮膚・排泄ケア認定看護師 安保 苗美

認定看護師とは、看護現場において実践・指導・相談の3つの役割を果たすことにより、看護ケアの広がりや質の向上を図ることに貢献します。私の分野は主に創傷や褥瘡(床ずれ)、人工肛門(ストーマ)造設・排泄に関わる患者さんのケアを行っています。特に重要視していることは皮膚障害の予防とスキンケアです。最近では主に高齢者に発生するスキン-テア(皮膚裂傷)も新たな皮膚障害として注目されています。医療スタッフが皮膚障害を理解し、患者さんや家族の方が安心して生活できる環境を提供する必要があります。現在は毎週ストーマ外来と褥瘡回診を行い、皮膚の観察や創傷処置・スキンケアの指導を行っています。

その中でも、必ず行っていただきたい一番のケアは保湿です。保湿を心がけていれば皮膚障害は確実に予防と改善ができます。季節を問わず1年中保湿に留意し、皮膚障害を発生させないようにしていきましょう。保湿ケアは1日に2回行うことが推奨されています。

他にも入院中の患者さんに合った正しいオムツの当て方や選択方法の指導を行い、皮膚障害の予防に努めています。当院では尿とりパッド



の重ね使いを廃止しています。1枚のみの使用は下着のような着け心地で、患者さんのプライドも守りながら皮膚トラブルのリスクを軽減しています。

知識向上のために2014年から褥瘡の研修会を院内・院外で共有して行っていますが、今後はスキン-テアやストーマ関連の内容も追加して行っていきたいと思っています。困ったことがあればいつでもお気軽にご相談下さい。要望があれば在宅訪問も行っています。



ストーマ外来



褥瘡の研修会

免疫チェックポイント阻害薬

従来のがん治療薬とは異なるはたらきをする新しいタイプの薬

※免疫チェックポイント阻害薬とは※

近年、がん治療は新しい薬剤や治療法などが開発され、めざましく進展し、治療効果も向上しています。そのひとつである免疫チェックポイント阻害薬は、従来のがん治療薬とは異なる働きをする新しいタイプのお薬です。

一般名	商品名	主な適応症
ニボルマブ	オプジーボ [®]	<ul style="list-style-type: none"> ・ 切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌 ・ 根治切除不能又は転移性の腎細胞癌 ・ 再発又は遠隔転移を有する頭頸部癌 ・ がん化学療法後に増悪した治療切除不能な進行・再発の胃癌
ペムブロリズマブ	キイトルーダ [®]	<ul style="list-style-type: none"> ・ PD-L1陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌 ・ 治療切除不能な進行・再発の膀胱癌
アテゾリズマブ	テセントリク [®]	<ul style="list-style-type: none"> ・ 切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌
アベルマブ	バベンチオ [®]	<ul style="list-style-type: none"> ・ 根治切除不能なメルケル細胞癌

※免疫チェックポイント阻害薬によるがん免疫療法とは？※

人の体には、病気を引き起こす細菌やがん細胞などの異物から体を守るために「免疫」という働きが備わっています。免疫は異物の侵入を防いだり、侵入してきた異物を排除したりして体を守ります。がん細胞は正常な細胞が変異して起こりますが、がん細胞と分かる標識を出しています。免疫は、そのがん細胞と分かる標識を感知して、がん細胞を攻撃します。

しかし、がん細胞も生き残るために、がん細胞と感知されないようにしたり、がん細胞への攻撃にブレーキをかけることで、免疫の攻撃から逃れています。

免疫チェックポイント阻害薬による免疫療法は、がんが免疫に対してかけているブレーキを解除する新たな治療法です。

※免疫チェックポイント阻害薬の注意点(副作用)※

免疫チェックポイント阻害薬はがん細胞によって抑えられていた免疫力を復活させます。そのため、免疫が働き過ぎることによる免疫関連の副作用が現れる可能性があります。

免疫チェックポイント阻害薬の注意すべき副作用には、間質性肺疾患、大腸炎、重度の下痢、重度の皮膚障害、ギラン・バレー症候群、重症筋無力症、肝機能障害、内分泌障害(甲状腺機能障害、下垂体機能障害、副腎機能障害)、1型糖尿病、その他の免疫関連副作用、点滴時の過敏症反応などがあります。

※当院での取り組み※

当院では、免疫関連の副作用が現れる可能性を考慮し、免疫チェックポイント阻害薬で治療を行っていただいている患者さんに対し、治療毎に図のような問診票を用いて副作用のスクリーニングを行っています。

また、院内研修会等を行い、副作用の発現時に対応していきけるよう努めています。



がん免疫療法 () の治療中の方への問診票

来院日: _____ 年 _____ 月 _____ 日 氏名: _____

体重: _____ kg 体温: _____ ℃ 血圧: _____ / _____ mmHg 脈拍 _____ 回/分 SpO2 _____ %


がん免疫療法は、従来の抗がん剤の副作用と異なります。
免疫反応(※)による全身への影響が考えられ、早期発見が重要です。


※病原菌やがん細胞などの異物を攻撃・排除し、自らの体を守ること





前回治療後から、かわったこと、気になること、心配なことがありますか？

当てはまる項目に ご記入下さい


息切れ、息苦しさ、咳が出る(空咳)、発熱といった症状がありますか？
肺  □ある → どのような？いつからですか？ ()
程度 (少しある ・ ある ・ かなりある)


下痢、便に血が混じる、おなかの痛み、などの症状がありますか？
消化管  □ある → どのような？いつからですか？ ()
程度 (少しある ・ ある ・ かなりある)


のどのかわき、水を多く飲む、尿が増える、体がだるい、体重が減る、などの症状がありますか？
糖尿病  □ある → どのような？いつからですか？ ()
程度 (少しある ・ ある ・ かなりある)


まぶたが重い、ものが二重に見える、筋肉痛などの症状がありますか？
筋肉  □ある → どのような？いつからですか？ ()
程度 (少しある ・ ある ・ かなりある)


裏面もありますので、ご記入下さい


体のだるさ、むくみ、吐き気、食欲の低下、頭がぼーっとする、頭痛、めまい、
内分泌障害  □ある → どのような？いつからですか？ ()
程度 (少しある ・ ある ・ かなりある)


手足の浮腫み、腫れや痛み、胸の痛み、麻痺や呂律がまわらない、頭がぼーっとする、
血栓  □ある → どのような？いつからですか？ ()
程度 (少しある ・ ある ・ かなりある)


身体のぶつぶつ(じんましん・発疹)、かゆみ、白斑、口内炎、などの症状がありますか？
皮膚  □ある → どのような？いつからですか？ ()
程度 (少しある ・ ある ・ かなりある)

手足や顔のしびれ、痛み、感覚が鈍くなる、手足や顔に力が入らない、動悸がする、
神経  □ある → どのような？いつからですか？ ()
程度 (少しある ・ ある ・ かなりある)

むくみ、尿が少ない、尿の色が赤い、などの症状がありますか？
腎臓  □ある → どのような？いつからですか？ ()
程度 (少しある ・ ある ・ かなりある)

鼻血、歯ぐきの出血、点状や斑状の皮下出血、などの症状がありますか？
血小板  □ある → どのような？いつからですか？ ()
程度 (少しある ・ ある ・ かなりある)

皮膚や白目が黄色くなる、体のだるさ、吐き気、などの症状がありますか？
肝臓  □ある → どのような？いつからですか？ ()
程度 (少しある ・ ある ・ かなりある)

目がかすむ、見えにくい、ものが二重に見える、充血、まぶしい、などの症状ありますか？
眼  □ある → どのような？いつからですか？ ()
程度 (少しある ・ ある ・ かなりある)

科別診療割表

診療受付時間 午前8時30分から午前11時まで (救急は随時)
 休診日 土曜日・日曜日・祝日・12月29日から翌年1月3日

診療科	科別	月	火	水	木	金	備考	
内科	午前	1 診	水戸川 剛秀 (内科全般)	岡本 修吾 (総合診療)	金尾 浩一郎 (腎・内科全般)	水戸川 剛秀 (内科全般)	藤本 靖郎 (総合診療)	
		2 診	藤本 靖郎 (総合診療)	開原 正展 (腎・高血圧)	開原 正展 (腎・高血圧)	金尾 浩一郎 (腎・内科全般)		
		3 診		長澤 紗詠子 (糖尿病)	藤本 靖郎 (総合診療)		長澤 紗詠子 (糖尿病)	
		4 診			平野 紘康※1 (リウマチ・膠原病)	山脇 泰秀 (総合診療)	山脇 泰秀 (総合診療)	※1 予約制
		5 診						
	午後		検診 長澤 紗詠子	検診 フットケア外来※2	検診	検診 長澤 紗詠子	※2 第2・4水曜日	
総合診療科	午前		岡野 由佳		岡野 由佳			
	午後				山脇 泰秀			
呼吸器内科	午前	西井 和也	西井 和也	片岡 幹男		片岡 幹男		
	午後	検査			岡本 誠 ※3		※3 14:00~17:00	
消化器内科	午前	1 診 2 診	松本 栄治	平岡佐規子 宮部 欽生	河合 良成	河合 良成 宮部 欽生		
	午後	検査	検査	検査	肝臓専門外来※4	検査	※4 担当医 (河合)	
循環器内科	午前	1 診	山田 大介	圓光 賢希	高村 俊行	高村 俊行	小林 博夫	心臓リハビリテーション外来 (月・水・金) 15:00~16:00
		2 診	小林 博夫					
		診察		ベースメーカー外来※5				
	午後	検査 血管診療センター	心カテ 検査	心カテ 検査・診療	心カテ 検査	心カテ 検査	検査	※5 第1・2火曜日 14:00から 13:00~17:00
神経内科	午前			岡本 美由紀			予約制	
	午後							
外科 (肛門科)	午前	1 診	川真田/小野田	宇田 征史	宇田 征史	小野田 正	村田 年弘	
		2 診	井上 弘章	上塚 大	上塚 大 (肛門科)	川真田 修	川真田 修	
		3 診						
	午後	手術 (ストーマ外来) ※6	検査	手術	検査	手術	※6 第2・4水曜日	
血管外科	午前		越智 吉樹		越智 吉樹			
	午後	手術		手術		手術		
乳腺外科 (乳腺外来)	午前		高橋 侑子			下妻 晃二郎 (予約)	9:00~12:00	
	午後		高橋 侑子					
整形外科	午前	1 診	廣岡 孝彦 (予約)	藤井 淳一	廣岡 孝彦 (予約)	藤井 淳一	廣岡 孝彦 (予約)	
		2 診						
		3 診	藤井 淳一	迫間 巧将	迫間 巧将	渡邊 益宜	小野 智毅	
		4 診	渡邊 益宜	小野 智毅	井上 博登	井上 博登	渡邊/藤井※7	※7 渡邊 (第1・3・5金曜日)
		5 診		装 具			装 具	※7 藤井 (第2・4金曜日)
	午後	手術	手術	手術	手術	手術		
形成外科	午前		寺本 未織	井上 温子				
	午後		寺本 未織	井上 温子				
小児科	午前		井上 直樹	井上 直樹	井上 直樹※8	井上 直樹	※8 第2水曜日休診	
	午後		予防接種	乳児検診	予防接種	林(発達外来) ※9 脳(循環器外来) ※10	※9 第1木曜日 ※10 第4金曜日 (偶数月)	
小児外科	午前		野田 卓男 (予約) ※11				※11 第1・3火曜日	
	午後							
脳神経外科	午前	1 診	土本 正治	大同 茂	岩戸 英仁	土本 正治	細本 翔	※12 大同(第1・3・5金曜日)
		2 診					大同/岩戸※12	※12 岩戸(第2・4金曜日)
	午後	検査 土本(頭痛外来)	手術	検査	手術	検査	14:00から	
産婦人科	午前	新患再来	大村 裕一	大村 裕一	大村 裕一	大村 裕一		
	午後	検査	手術 予約外来	検査	検査	検査		
皮膚科	午前		樫野 かおり	樫野 かおり	樫野 かおり	樫野 かおり		
	午後	検査	手術	手術	検査	検査		
泌尿器科	午前	1 診	大枝 忠史	井上 陽介	大枝 忠史	西山 康弘	大枝 忠史	
		2 診	西山 康弘	大枝 忠史 (予約)	西山 康弘	大枝 忠史 (予約)	井上 陽介	
	午後	検査	手術	検査	手術	検査		
耳鼻いんこう科	午前		診療あり	診療あり	診療あり	診療あり	広島大学病院より	
	午後		佐々木 (睡眠時無呼吸外来)					
眼 科	午前					舘見 久恵	午前のみ	
	午後							
放射線科	午前	画像診断	三船 啓文	三船 啓文	三船 啓文	三船 啓文	三船 啓文	
		治療		片山 敬久 (予約)				
	午後	画像診断	画像診断 (血管造影)	画像診断	画像診断 (血管造影)	画像診断	予約制	
歯科口腔外科	午前		吉田 明弘	吉田 明弘	手術	吉田 明弘	吉田 明弘	
			口腔外科	口腔外科	口腔外科	口腔外科	手術	予約制
リハビリテーション科	午前						予約制	
	午後		田中 芳幸					

専門外来のご紹介 (予約制)

- 月 曜 : ストーマ外来(第2・4) / 頭痛外来
- 火 曜 : ベースメーカー外来(第1・2週) / 睡眠時無呼吸外来 / 緩和ケア相談外来(午前)
- 水 曜 : 禁煙外来(毎週) / フットケア外来(第2・4週)
- 木 曜 : 肝臓専門外来 / 小児発達外来(第1週) / 緩和ケア相談外来(午前) / 緩和ケア(精神)外来(第2週) / 緩和ケア(身体)外来(第4週)
- 金 曜 : 乳腺外来(午前) / 小児循環器外来(偶数月/第4週)

